

静岡県告示第217号

静岡県青少年のための良好な環境整備に関する条例（昭和36年静岡県条例第55号）第7条第1項の規定により、青少年の健全育成のために有益なものとして、次の図書類を推奨した。

令和3年3月16日

静岡県知事 川勝平太

青少年にとっての優良推奨図書 3件

書名・著者名	発行所・本体価格	内容
<p>兄の名は、ジェシカ</p> <p>ジョン・ボイン／著 原田勝／訳</p>	<p>あすなろ書房 1,500円</p>	<p>4歳年上のジェイソンは、サムの子慢の兄。おだやかでやさしくて、忙しい両親にかわって、小さいときからサムの面倒をよくみてくれた。けどこの頃、少し様子が変わったみたいだ。ジェイソンはある日、自分はトランスジェンダーである事を家族に告白する。大好きな兄の変化にサムはとまどい、閣僚の母親、秘書を務める父親はうろたえる。おりしも現首相が退任し、サムの母親は有力な次期首相候補になるはずだったが、ジェイソンのことがマスコミに取り上げられるようになり…。生物学的な性、社会的な性などを、家族4人の立場から、誠実に、時にコミカルに描く。</p> <p>他人を思いやる心など豊かな人間性、家族を愛する心を育む作品として、中学生以上の青少年に推奨する。</p>
<p>琉球という国があった</p> <p>上里隆史／文 富山義則／写真 一ノ関圭／絵</p>	<p>福音館書店 1,300円</p>	<p>現在では、47都道府県のなかのひとつである沖縄県ですが、昔は「琉球王国」という、王さまが国を治める独立国で、日本とは別の国でした。東南アジアの国々や中国を相手に貿易で大変栄えていました。琉球王国が繁栄した陰には、明が琉球王国を破格に優遇したという事があります。では、なぜ小さな島国に過ぎない琉球王国を、大明はそんなに優遇したのでしょうか。昔々の沖縄の歴史をたどり、その秘密にせまります。</p> <p>正しい知識を習得し活用する力、郷土を愛する心を育む作品として、小学校中学年以上の青少年に推奨する。</p>
		<p>主人公のランカは、花や緑あふれるふるさとの</p>

<p>ランカ にほんにやってきたお んなのこ</p> <p>野呂きくえ／作 松成真理子／絵</p>	<p>偕成社 1,300 円</p>	<p>国から日本にやってきた 10 歳の女の子。日本語はまったくわかりませんが、日本の小学校に入ることになりました。下駄箱で靴を履き替えたり、給食があったりと、ランカが行っていた学校とはちがう毎日に一生懸命ついていこうとするのですが、ある日、ふるさとを思い出して木登りをしたとき、クラスメイトの男の子に足をつかまれて、胸がいっぱいになり、泣き出してしまいます。するともう一人泣きだした子がいました。足をつかんだ男の子です。二人はまだ言葉は十分に分かりあえませんが、なにかがランカに伝わりました。</p> <p>他人を思いやる心など豊かな人間性、自ら学び、考え、責任ある行動がとれる資質を育む作品として、小学校低学年以上の青少年に推奨する。</p>
---	------------------------	---